

書道部通信第3号

令和8年7月14日発行



「清田祭壁画制作」

今年の壁画は「清田革命」。6月27日(土)に講堂に集まり、丸一日がかりで大壁画を制作しました。大きな芸術作品をみんなで完成させた後の充実感は格別でした。学校祭当日ではステージに飾られ、終了後も校内で保管されます。部員にとっても一生の思い出です。

清田祭「書道部作品展」を見て(お客様からの感想より)

- ・「力強い書から活力をいただきました(近隣の方)」
- ・「ストラップはとってもかわいいですね。娘がランドセルに付けると言ってます。(本校生のご家族)」
- ・「お久しぶりで〜す!百人一首のアイデアや、みんなの作品が素晴らしいです!全道大会に向けての練習は暑いし大変だと思うけど、続けたら絶対いい結果につながるよ!(卒業生)」
- ・「一つ一つの作品が、心をこめて書かれているのがよく伝わってきました。(本校生のご家族)」
- ・「全部素敵すぎて、一作品あたり10分かけて見ていたら終わっちゃいました。」(本校卒業生)」
- ・「皆さんとても上手で素晴らしいと思いました。教室の右奥に書き終えた半紙がたくさん置いてあって、一生懸命練習しているのだなと感心しました(本校生のご家族)」
- ・「とても力強い字で感動しました。これからも頑張ってください(近隣の方)」時代の流れはありますが、字を大切にする心は変わりません。今日は、よい書道を見せていただきました。ありがとう!(本校生のご家族)」

<お知らせ>

今回の清田祭に展示された作品は7月27日(月)頃~8月21日(金)頃まで**厚別郵便局**に展示されます。

(編集後記) 6月27日に書道部の生徒たちが壁画を完成させる姿を見て、これは本当に大変な作業だと感心しました。講堂に大きなブルーシートを二枚敷いて、その上にたくさんの新聞紙を重ねる準備の後、大きな紙を二つ隣りあわせに並べて、片方に練習をした後、いよいよ本番です。自分の背丈ほどもある大きな筆とバケツ一杯の墨で描いた書は芸術作品そのものでした。実は、出来上がった作品の中に生徒の足跡があります。本人は恥ずかしがっていましたが、それも作品の重要な一部でしたね。